



第23回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイメージーションを感じていただくことを目的としています。このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。また、交流会では講師の先生と直接お話しいただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2020年**3月17日（火）** 14:00～17:00

※開始時間・会場ご注意ください。

場所：ナレッジオフィス VisLab Osaka

（大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪 タワーC 9階）

地図：<https://cb-lab.jp/access.html>

参加費：無料（交流会：1,000円）

主催：NPO法人 近畿バイオインダストリー振興会議、公益財団法人都市活力研究所

共催：NPO法人 バイオグリッドセンター関西

後援：関西医薬品協会

講演 I 14:00-15:00

「白血病を発症させる原因遺伝子の解明 ―生まれた時から白血病は始まっている―」

京都大学大学院 医学研究科 腫瘍生物講座 准教授 牧島 秀樹

骨髄異形成症候群は貧血や感染症にかかりやすい血液の病気の一つですが、高い頻度で白血病へ進行し、前白血病状態と考えられる病気です。これまで、60以上の原因遺伝子が報告されておりますが、ひとりの患者さんあたり平均4個の遺伝子に異常が認められ、異常によっては出生時に既に存在するものや、発症以前に血液中に認められるものがあることが分かっています。講演では、複数の遺伝子異常が、いつ、どの順番で起こることにより、白血病を発症するのかについて、最近の知見をご説明いたします。

講演Ⅱ 15:00-16:00

「新しい医薬品としてのラクダ科動物由来 VHH 抗体」

産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 研究副部門長 萩原 義久

抗体は治療薬などにも広く用いられている重要な産業用蛋白質の一つであるが、その構造の複雑さに由来する様々な問題が存在する。我々はこの課題に対し VHH 抗体に着目し研究を進めている。VHH 抗体はラクダ科動物に存在する軽鎖の無い特殊な抗体の VH ドメインであり、天然の抗体成熟機構によって作製可能な最も単純な抗原結合分子である。本会では当該抗体について概説を行い、最近の我々の成果も紹介する。

16:00-17:00 交流会・名刺交換会

申込先：参加希望者は 2020 年 3 月 16 日（月）までに、NPO 法人近畿バイオホームページからお申込みください。ただし、定員（75 名）に達し次第、締め切らせていただきます。

URL：<https://kinkibio.com/>

※参加証の発行はございません。ご了承ください。

問合先：

NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（松村、大嶋）

公益財団法人都市活力研究所

電話：06-6359-1322（味村）